

お 隠岐の島

広報

2012
10



特集

～島で創業しませんか～

隠岐の島ものづくり学校開校

隠岐の島町成人式2012

全国離島交流中学生野球大会で3度目の優勝

全国小学生学年別柔道大会に2年連続出場

bjリーグ・プレシーズンマッチが開催 9月8日

隠岐の島町総合体育館で開催された、日本プロバスケットボールリーグ・bjリーグ「島根スサノオマジック対京都ハンナリーズ」の試合前に行われたサイン会の様子。サインをしているのは4年連続得点王の人気プレーヤー「マイケル・パーカー選手」です。

※詳細は7ページ「まちのできごと」に掲載

特集

島で創業しませんか

～新たな産業の創出と情報発信の拠点を目指して～

隠岐の島ものづくり学校開校

隠岐の島町では、新たな産業の創出によるビジネスネットワークづくりや町からの情報発信を促進する拠点施設として、「隠岐の島ものづくり学校」（隠岐の島町中村地区）を整備しました。今回の特集では、7月1日に開校した「隠岐の島ものづくり学校」の取組についてご紹介します。



働く場の減少

本町は、農林水産業を産業の主流としながら、建設業などが雇用と経済を支えてきました。しかしながら、農作物の価格低迷や資源減少による漁獲高の減少、公共事業の減少により町内での雇用の場が失われ、島を離れる若者が年々増える傾向にあります。

創業の場を整備

町では、この課題解決の一つとして、離島でのビジネスモデルの検討と町内で創業するための場として、閉校となった旧中村小学校を活用した「隠岐の島ものづくり学校」を開校しました。

この隠岐の島ものづくり学校は、旧中村小学校を一部改修し、創業するために不可欠な事務所スペースやインターネット環境などの情報通信設備が整備されています。

都市部と連携が不可欠

また、離島での創業には、多くの消費者を抱える都市部との交流・連携も不可欠です。

そのため、施設の運営は、東京都世田谷区に本社をおく株式会社ものづくり学校（※）が行い、島の資源（自然景観・農林水産物・歴史・文化など）に、都市部の新しいアイデアやノウハウを注ぎこむことで新たな産業の育成と雇用を創出

するとともに都市部との交流を促進していきます。

地域交流の場としても利用

さらに、地域交流としてのイベントの開催や作品展示のギャラリーとしての機能を果たせ、住民の皆様が気軽に集え、情報交換ができるためのパブリックスペース（公共の場所）が設けられています。

次ページからは、隠岐の島ものづくり学校の施設や取組などについてご紹介します。

隠岐の島ものづくり学校イメージ図



隠岐の島町役場

- ① 隠岐らしい新たな産業の育成・ビジネスプランコンテスト開催
- ② 創業支援・コンテスト優勝者に月10万円の生活支援金
- ③ 情報提供
- ④ 中村地区振興・地域おこし協力隊と隠岐の島フィルムコミッションの入居

株式会社ものづくり学校

少子・高齢化によって全国の小中学校が統廃合されるなか、日本で初めて民間主導の「廃校再生利用」を行なった企業です。

世田谷ものづくり学校は、平成16年10月に開校し、現在はデザイン・映像・食など、ものづくりを行う若手作家など約40社が入居し、オフィススペースとして活用しています。また、施設内では、様々なワークショップやイベントが開催され、隣住民の地域コミュニティの場としても機能しています。

島の資源と都市部のノウハウが融合し、隠岐の島ものづくり学校

隠岐の島ものづくり学校は、都市部との連携により、町外在住の本町出身者や都市部の若者などによる隠岐の資源を利用した創業の創出や、それにより生み出された商品の都市部への販路拡大を行なっています。

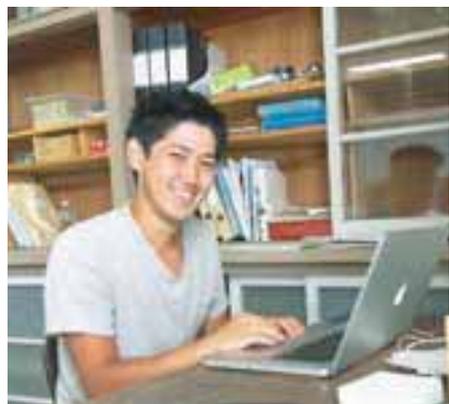
現在、隠岐の島ものづくり学校には、「隠岐の島フィルムコミッション」、「地域おこし協力隊」が入居し、さらに平成25年3月までに個人事業者や企業など3社が入居する予定です。

主な活動内容

情報の収集・発信

島の資源に、都市部のアイデアやノウハウを取り入れるためには、都市部に対して、隠岐の資源に関する情報を発信していくことが重要になります。

そこで、すでに入居している隠岐の



隠岐の島ものづくり学校スタッフ片倉利雄さん
株式会社ものづくり学校職員で、平成24年7月に隠岐に1ターン。

島フィルムコミッションや地域おこし

協力隊と連携し、隠岐に関わる様々な情報を調査し、観光情報やパンフレットでは見えてこない島の伝統や資源などの情報を収集しています。

さらに、収集した情報は、インターネット上のウェブサイトや世田谷ものづくり学校が持つネットワークを活かし、都市部を中心に発信しています。

「隠岐の島ものづくり学校

ウェブサイトアドレス

<http://oki-school.net/>



隠岐の島ものづくり学校
ウェブサイトのトップページ

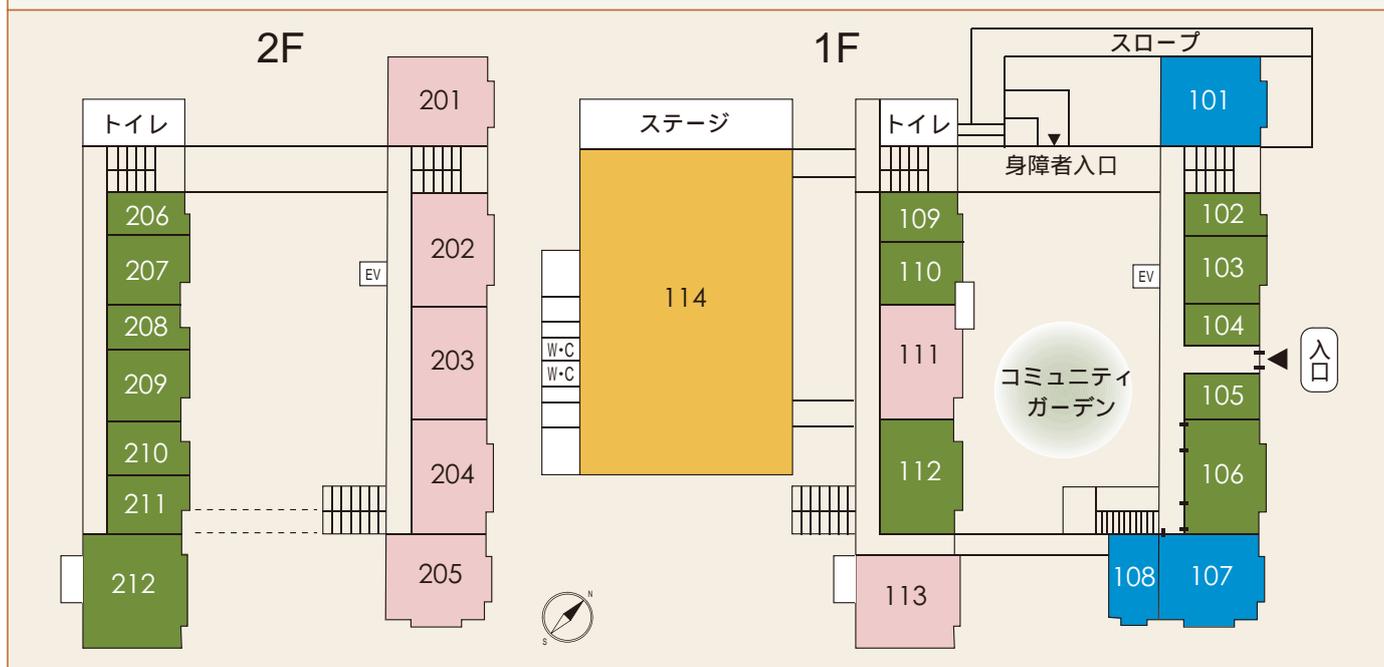
創業への支援

長期利用スペースを利用する創業者に対して、創業するために必要なノウハウについて隠岐の島町と連携して相談・助言に応じます。

短期利用も可能

短期利用スペースでは、隠岐の島町出身で帰省された方の利用なども可能です。インターネット回線が全室配備されているため、パソコンを持ち込んで一時的に仕事をするなどにもできますので、お気軽にご利用ください。

施設の概要



- 長期利用スペース（15室）：創業するための事務所スペースとして利用。
- 短期利用スペース（7室）：3ヶ月未満であれば、1日や1週間単位で利用できます。
- 体育館利用スペース（1室）：時間単位でスポーツやイベントなどに利用できます。
- パブリックスペース（3室）：作品展示やワークショップなどを行う地域の皆様への開放スペース。

地域交流事業

パブリックスペースを住民の皆様
にコミュニティの場として利用して
いただけるような様々なイベントやワ
ークショップを企画していきます。

お問い合わせ先

隠岐の島ものづくり学校

住所：隠岐の島町中村1494

一般開館時間

午前8時30分～午後5時まで

休館日：毎週月曜日

08512 3 1552
08512 3 1551

ビジネスプランコンテストを

開催しています

隠岐の島町では、隠岐の島ものづ
くり学校を利用した、隠岐らしい新
たな産業の育成を目的にビジネスプ
ランコンテストを実施しています。

このコンテストは、全国、島内
外の若者や企業、UIターン希
望者、大学生などから、島内の地
域資源を活かしたビジネスプラン
を募集するものです。

コンテストでの優秀賞受賞者
には、賞金と株式会社ものづくり
学校」による創業支援及び、町か
ら毎月10万円の生活支援金が2年
間支給されます。

詳しくは、役場定住対策課 電
話28570、までお問い合わせ
してください。

隠岐の島ものづくり学校発～町の資源をフル活用～

隠岐映画島を

目指します

隠岐の島フィルムコミッション



隠岐の島フィルムコミッションスタッフ
齊藤あや子さん（写真左）と藤田千夏さん

隠岐の島フィルムコミッションは、
町に映画やテレビなどの撮影（ロケ
ーション撮影）を誘致するとともに、
情報提供や撮影許可など、撮影する
制作者の支援を行う「非営利な公的機
関です。

本町は、豊かな自然環境や数々の
歴史・文化遺産など、多彩なロケ
ーションに恵まれています。

それらの資源を活かし、隠岐を舞台
とした映像が数多く制作、発信される
ことで、全国に隠岐の魅力が伝えられ、
町の交流人口拡大や地域活性化につな
げていくことを目的としています。

【主な活動内容】

誘致・プロモーション活動として、
町内ロケ地のデータベース化を進め、
ホームページで公開するとともに、
平成23年度には、PRビデオ「スマ
イルアゲイン」を制作し、制作者に
対するPRを行なっています。

撮影時における様々な許可や申請
などの支援及び、飲食店や宿泊施設
などの情報提供や斡旋を行います。
地域の皆様による制作ボランティア
やテキストの募集などを行います。

お問い合わせ先

隠岐の島フィルムコミッション
08512 3 1551

なんでも

お手伝いします

地域おこし協力隊



地域おこし協力隊員
谷口菜津子さん（写真左）と谷田部朋子さん

地域おこし協力隊は、隠岐の島町
に興味を持つ都会の方を積極的に誘
致し、定住・定着を図ることを目的
に設置され、現在2名の協力隊員が
活動しています。

地域おこし協力隊では、主に中村地
域の課題や資源について調査し、それ
らを活かした商品開発や地域おこしの
プランを作成・実施することにより、
交流人口の拡大を目指しています。

現在は、地域の行事に参加したり、
皆様のお話を伺いながら、それぞれ
のニーズへ対応するとともに、新た
なイベントや教室を開催し、地域を
盛り上げていく予定です。

【主な活動内容】

中村地域で、農林水産物などの
産業調査。

修学旅行の受け入れ支援（修学
旅行生に中村地域での産業体験）。
イベントなどの企画・開催。

中村地域の方々と北小学校児童
の皆さんとの交流。

中村の地域おこしに賛同してくれる
仲間を集め、中村地域のイベントに
ついて地域の方と一緒に企画します。
イターンで中村地域に住まれる
方への情報提供。

お問い合わせ先

地域おこし協力隊
08512 3 1551

ま ち の で き ご と

放送大学の公開講座が隠岐の島町図書館で開催されました。講師の足立悦男放送大学島根学習センター所長が「日本の民話・韓国の民話」〜日韓文化交流のために〜と題し、日本と韓国の昔話の類似点を取り上げ、日韓の民話文学について話されました。



熱心に耳を傾ける受講者の皆さん

8/18

目韓の民話文学を学習 放送大学・公開講座

8/14

幻想な舞しめやかに ~西村神楽~

西村神楽が、西村神社で夜通し行われ、様々な演目が舞われるたびに多くの見物客から拍手が送られました。



写真は「御戸開」の舞

8/26

住民主体で美化活動を 大久海岸清掃

隠岐の美しい景観を守ろうと、大久地区の有志の呼びかけにより大久黒島付近の海岸清掃作業が行われました。この日、清掃作業には地区住民やボランティアアスタツフの皆さん約40名が参加。トラック12台分もの漂着ごみが回収されました。



手渡して道路まで漂着ごみを運ぶ参加者の皆さん

8/26

目頃の練習成果を披露 アマチュアバンドコンサート

町内4団体と松江の1団体が参加し、「サウンドライブしまねアマチュアミュージックフェスティバル」が隠岐島文化会館で開催され、来場した大勢の皆さんを前に全22曲の演奏や歌が披露されました。



地元アマチュアバンド「ENERGY HOUSE」の皆さんによる演奏

8/24 ~ 26

都会の子ども達と野球を通じ友好の輪

学童交流軟式野球大会「ごさんせカップ」開催

島内外の学童野球チーム15チームの参加による「第10回学童交流軟式野球大会「ごさんせカップ」」が、総合グラウンド他町内3会場で開催されました。

この大会は、真夏の隠岐の島を舞台に、都会で生活する子ども達と隠岐の子ども達が、野球を通じてお互いの友情の輪を広げることを目的に、平成15年に創設されました。大会には、本町と「友好都市提携に関する協定」を締結した大阪府豊中市の4チームを含む11チーム約150名の選手が島外から参加。島内4チームの子ども達とともに3日間に及ぶ熱い戦いを繰り広げました。



炎天下の中、元気にプレーする子ども達 (隠岐の島町総合グラウンド)

9/1

巨体が激突 牛突き八朔大会

島根県無形民俗文化財指定の「八朔牛突き大会」が佐山牛突き場で開催されました。

全8番の迫力ある取組みに、来場した大勢の観衆は大きな声援を送っていました。また、今年度、隠岐観光協会が観光牛突き用として岩手県より購入した「いわて短角和牛(日本短角種)」と飼育者の方も大会に参加し、牛突き文化の交流を深めました。



写真は横綱戦(秀岐号 VS 大谷龍号)の対戦の様子

9/4

先人の偉業が絆を深め 奈良県十津川高校が来島

奈良県立十津川高等学校の生徒46名が隠岐での修学旅行の途中、中村の中沼了三顕彰碑を訪れ、中沼了三顕彰会の小室賢治さんをはじめ地元関係者の皆さんと交流を深めました。

中沼了三（本町中村出身）は明治維新のとき活躍した儒学者で、1864年に孝明天皇の勅命により十津川高等学校の前身となる「文武館」を設立しました。この縁により、同校は8年前より毎年修学旅行で隠岐を訪れています。



中沼了三顕彰碑の前で、地元関係者と意見交換する生徒の皆さん

9/8

地域漁業の活性化を願い 漁業集落祭りの開催

第2回隠岐の島町漁業集落まつりが西郷港メガフロートで開催されました。

オープニングでは原田認定こども園の園児による踊りが披露された後、マダイの放流などの体験コーナーや、新鮮魚介類の販売コーナーなどが設けられ多くの方々で賑わいました。



養殖本マグロの解体・即売コーナーの様子

9/8 プロ選手の技を満喫！

プロバスケ・bjリーグが開催

日本プロバスケットボールリーグ・bjリーグ「島根ササノオマジック対京都ハンナリーズ」のプレシーズンマッチ（公認練習試合）が隠岐の島町総合体育館で開催されました。

bjリーグ初の隠岐の島での開催とあって、当日会場には約900名の観客の皆さんが詰めかけ、迫力のあるプロバスケットボールのプレーに見入っていました。

bjリーグは、平成17年に国内初のプロバスケットボールリーグとして発足。現在19チームが加盟しています。



ササノオマジックの選手による豪快なダンクシュート

当日は、地域住民や関係者の皆さん約40名が参加。参加者の皆さんは、地図を見ながら、地域内のどこが危険なのか、どこへ逃げればよいのかなど、真剣な意見交換が行われました。



相談しながらマップを作る参加者の皆さん（釜屋集会所）

9/9

津波避難マップを作成 釜屋地区でワーキング会議

島根県が主催する「津波避難マップづくりワークショップ」が釜屋集会所で開催されました。

この事業は、津波発生時に迅速かつ適切に避難するために、住民の皆さんと協力して津波発生時の避難場所や避難経路をまとめた「津波避難マップ」を作成するものです。

9/9

雨の海上で熱戦 全隠岐カッターレース大会開催

第6回目となる「全隠岐カッターレース大会」が隠岐水産高校前の海上で開催され、雨の中男子15チーム女子7チームによる熱戦が繰り広げられました。



写真は女子の部の優勝チーム「MJ」と不愉快な仲間たち」の力強い漕艇の様子

9/10

国境離島の将来を考える 国境フォーラムin隠岐が開催

離島の抱える課題などに積極的に取り組む、提案などを行う「日本島嶼（とうしよ）学会」の主催によるシンポジウム「国境フォーラムin隠岐」が五箇生涯学習センターで開催されました。

シンポジウムでは、松田町長を含む3名の皆さんが意見発表した後、本町が抱える竹島問題をはじめ、国境をめぐる対応や、将来に向けての取組みなど、来場された大勢の皆さんとともに幅広い議論が交わされました。

この国境フォーラムは平成19年の日本島嶼学会与那国大会（沖縄県）を皮切りに始まり、今回初めて日本海域の島での開催となりました。



フォーラムの冒頭に司会者の岩下明裕教授（北海道大学スラブ研究センター）より国境の現状などについて説明がなされました。※島嶼（とうしよ）とは大小様々な島のことを意味します。



成人式に出席された127人の新成人の皆さん



式辞を述べる松田町長



新成人を代表して謝辞を述べる藤川高史さん



式典後の交流会で再開を喜ぶ新成人の皆さん

8月15日、水、隠岐島文化会館で平成24年度隠岐の島町成人式が開催され、対象となる171人のうち、127人が出席し、新成人として決意を新たにしました。

式典では、松田町長が新成人の皆さんに「何事にもかえ難い『若さ』を武器に、自らの可能性を積極的に追及しながら困難な状況のときにこそ、今、自分の回りで何が起きているのか、自分に何が出来て、どのように行動しなければならぬのかをしっかりと考えてほしいと思います。」と式辞を述べました。

も社会の一員として貢献できるように、自分にできることを見つけ、自分の行動に責任を持ち、新時代の担い手として常に向上心を持って様々なことに挑戦していきたいと思えます。」と決意の言葉を述べました。

式典の後の行われた交流会では、かつてのクラスメイトとの久しぶりの再会を喜び合っていました。

新たな門出祝う

隠岐の島町成人式 127名が参加



行政

かわらばん



後納制度（国民年金保険料の納付期限の延長）が始まります

これまででは、国民年金保険料を納め忘れたまま2年を超えると保険料を納めることができず、本年10月から3年間に限り、過去10年以内の納め忘れた保険料を納めることができる「後納制度」が始まります。

過去10年以内の保険料を納めていただくことで、将来の年金額を増やしたり、年金の受給権につなげることができるようになります。ご自身の年金記録については、ねんきんネット（<http://www.nenkin.go.jp>）でご確認ください。

また、ご不明な点があれば、国民年金保険料専用ダイヤル（0570-0111050）にお電話いただくかお近くの年金事務所にお問い合わせください。

後納制度は事前申し込みが必要ですが、審査の結果、後納制度による納付をご利用いただけない場合があります。詳しくは国民年金保険料専用ダイヤルにお尋ねください。

お問い合わせ先

役場町民課国保年金係

2・8560

隠岐の島町使用済自動車等 海上輸送費補助金について

使用済自動車を引き渡す際に発生する海上輸送費を負担した方に、輸送費の8割を支援します。



使用済自動車のリサイクルと適正な処理を図るため、自動車製造業者にリサイクルの責任を果たすことを義務づけ、車の持ち主にシュレッダーダスト、エアバッグ、フロン類の処理にかかる費用を負担することを義務づける法律「使用済自動車の再資源化等に関する法律（自動車リサイクル法）」が平成17年1月から完全施行されています。

これに伴い、使用済自動車の適正かつ円滑な処理を促進することを目的として、島の引取業者や関連業者に使用済自動車を引き渡す際に発生する海上輸送費を負担した方（又は事業者）に、輸送費の8割を支援する「隠岐の島町使用済自動車等海上輸送費補助金」を交付しています。（最終所有者が隠岐の島町内の引取業者に引渡し、引取業者が海上輸送した場合は、引取業者が補助金交付対象者となります。）

お問い合わせ先

役場環境課生活環境係

2・8565

ひとり親家庭及び 寡婦（夫）の皆さんへ

母子自立支援員が、母（父）子家庭や寡婦（夫）の皆さまが抱えている様々な悩み事の相談相手となり、問題解決のお手伝いやアドバイスをします。お気軽にご相談ください。

次のようなことで悩んでいませんか？

- 突然夫（妻）を失いどうしてよいかわからない
- 離婚・別居など家庭事情や身の振り方に悩んでいる
- 暮らし向きや子どもの学資などで困っている
- 年金や各種手当・医療助成について知りたい
- 子どもの養育・しつけ・教育のことで悩んでいる
- 養育費の請求方法について知りたい
- 内職や就労のこと、技術を身につけたい
- 同じ境遇の方と知り合い、話し合いたい
- 電話での相談も受け付けます。
- 個人の秘密は固く守ります。

お問い合わせ先

役場福祉課児童福祉係

2・8577



里親になりませんか

子どもが好きであり、愛情と熱意を持って、真心をこめて養育してくださる方を求めています。

さまざまな事情により家族と一緒に生活することが出来ない子ども達がいいます。里親とはこうした子ども達を自分の家に迎え入れ、家庭的な環境の中で愛情を込めて養育してくださる方です。

里親には、子どもが親と一緒に生活出来るようになるまで養育する「養育里親」と養子縁組により養親となることを希望する「養子縁組里親」があります。

養育里親の場合は、長期の養育だけでなく、1泊2日、1週間、1ヶ月間といった短期間の養育をしてくださる方も求めています。

里親になるための特別な資格は必要ありませんが、研修を受講すること、里親を希望する方とその同居人が欠格事由に該当しないこと、経済的に困窮していないことが必要です。里親制度についての詳細は、左記にお問い合わせください。

お問い合わせ先

中央児童相談所・隠岐相談室

2・9706

役場福祉課児童福祉係

2・8577



隠岐の島町教育委員会(会事務局) 20206 (代表)

西ノ島の大自然に 自転車でチャレンジャー 第27回アドベンチャー教室

隠岐の島町まちづくり運動協議会
青少年育成部会

隠岐の島町まちづくり運動協議会では、自分にチャレンジャー！みんなでチャレンジャー！大自然にチャレンジャー！を合言葉に、キャンプ生活を行いながら島内の大自然を自転車で走破する「アドベンチャー教室」を開催しています。

27回目となる今年は、猛暑が続く西ノ島を舞台に8月17日、金、から19日、日、の2泊3日で、小学4年生から中学3年生の63名、岡山県美甘小15名含む、という教室史上最多の参加者により開催されました。

初日は、朝のフューリーで西ノ島に移動し、別府港にて島前地区参加者7名が合流した後、最初の走行で西ノ島東地区コース14kmを走破し、キャンプ地の旧美田小学校に到着しました。炎天下の中、子ども達は、起伏の激しい道路に悪戦苦闘しながらも初日の走行を無

事に終え、キャンプ地に到着後は、みんなで協力してのテント設営や海水浴をするなど、まだまだ元気にいっぱいでした。



鬼舞展望台に向かい力強くペダルをこぐ子ども達
西ノ島町

2日目は、初日よりもはるかにきつい鬼舞展望台と赤尾展望台を回るコース20kmを走破し、子ども達はきつい坂道を上りきった後の達成感と雄大な景色に感動していました。また、夜には体育館でキャンプの集いを行うなど交流を深めました。

最終日は、3日間で最大の難コース20kmの摩天崖を目指しました。相変わらずの猛暑ときつい坂道で体の疲れもピークだったと思いましたが、お互いに励ましあいながら全員で頂上まで走破し、全コースを無事に完走することが出来ました。

2泊3日の短いキャンプ生活ではありましたが、子ども達は学年や校区を超えた集団生活とおして、みんなで協力すること、支えあうことの大切さを学び、ともに困難を克服する喜びを味わえたことでしょう。

また、3日間、大きな事故、怪我なども無く、参加者全員が無事にゴール出来たのも、子ども達の頑張りのもとより、地元西ノ島町スタッフをはじめとする多くのボランティアスタッフの多大なるご協力があればこそ、心から感謝しています。

最後に参加した多くの子ども達から、来年も参加したい！という声がかれ、とても嬉しく感じ、来年度以降もこの教室を継続して開催していきたいところだと思います。



摩天崖の頂上で記念撮影する参加者・スタッフの皆さん

大満寺山教育キャンプ

大満寺山の自然を生かした教育キャンプ村を今年も開設し、島内の2小学校、磯小学校、五箇小学校、と1中学校、都万中学校の計3校が大満寺山で教育キャンプを行いました。

参加児童生徒数	約80名
参加教員	約30名
教委・公民館	7名
一般ボランティア	3名

教育キャンプ村には、電気などはもちろんなく、不慣れた生活をする事になります。しかし、その生活の中で、



キャンプファイヤーの様子

が知恵を出し合い、互いに支え合い、協力し合うことで、普段味わうことの出来ない一体感を感じ、豊かな人間関係を醸成することが出来ます。また、隠岐の自然の素晴らしさも体感できます。

体験プログラムにも、「沢登りチャレンジャーコース」山頂登山コース、「グリーンアドベンチャー」鷲ヶ峰・屏風岩展望コース」ト

カゲ岩頂上コース」天体観測」
 などたくさんのおブションが用意
 され、子ども
 も達の豊かな
 な体験を支
 えています。
 今年も様
 々な体験を
 通して、子
 ども達は大き
 く成長し
 ました。



鷲ヶ峰・屏風岩展望コース

あつたかスクラムサポーター 養成講座

隠岐の島町教育委員会では、何らかのハンディなどにより特別な支援が必要な子ども達のためのサポーター養成講座を開催しています。

第1回

7月9日、ハンディのある子ども達の理解について、車イス体験、島根県東部発達障害者支援センターの福田明美さんによる講義の後、車イス体験を行いました。



第1回養成講座の様子
 総合学習センター・今津

第2回 8月10日
 あつたかスクラム夏季体験」

第1回目
 の講義を受け、実際に子ども達の体験活動の場として中村海水浴場で海遊び・スイカ割りなどを行いました。



第2回体験活動の様子(中村海水浴場)

第3回 9月8日

子ども同士がつながる言葉かけ」
 第2回目の体験活動を受け、特別支援学級の子とも達と通常学級の子とも達をつなげる言葉かけについて島根県東部発達障害者支援センター永見美千子さんの講義とワークショップで考えました。

第4回 1月予定

あつたかスクラム冬季体験活動
 初詣・正月遊びなど」
 第3回目の講義を受け、初詣、正月遊び、ユニバーサルスポーツなどの体験活動を行います。

第5回 2月予定

地域生活と子どもの支援について」
 全5回のあつたかスクラムサポーター養成講座のまとめを行います。興味のある方は、隠岐の島町教育委員会生涯学習課、2・2126までご連絡ください。

図書館だより

隠岐の島町図書館

08512-2-2341 FAX 08512-2-9198

●開館時間 10時～18時 ●閉館日(月曜日・第3日曜日・祝日)
 祝日が月曜、第3日曜と重なった場合は翌日も閉館

スポーツの秋！おすすめの本

涼しくなってきましたね。夏に落ちた体力を取り戻すため、体を動かしてみませんか？

『走る前に読む！ランニングの取扱説明書(トリセツ)』(青山剛 著 マイナビ)

これからランニングを始めたい人&ランニング初心者のために、トレーニングやレースの具体的なノウハウが詰まっています。

『筋力再生トレーニング「筋肉年齢」マイナス10歳』(久野譜也 監修 洋泉社)

自分の筋肉年齢がわかる簡単チェックつき。20代から70代まで、筋肉年齢にあわせた7つのトレーニングでより若い体を目指します。

『美しいメリハリボディになる！くびれをつくる凹(へこ)トレーニング』 谷本道哉・石井直方 著 毎日コミュニケーションズ

運動をするには、まず快適に動ける体作りから。体幹(コア)を鍛えるかんたんな体操がいくつか紹介されています。

『走れ、優輝！』(川内美加 著 中央公論新社)
 市民ランナー川内優輝選手のお母さんが川内選手と家族について書いた本です。ちょっとスパルタな教育方法など、あの川内選手の原点がここにある...かも。

中学校・高校生のみなさんへ ヤングアダルトコーナー紹介

ヤングアダルトとは、12歳から19歳くらいの「若い大人」の人を指す言葉です。図書館では、ヤングアダルト(YA)コーナーとして、児童書と一般書の間で中高生向けの本をそろえています。(背表紙の黄色いシールが目印です)

中高生向けコーナーですが、『バッテリー』(あさのあつこ/著)や『シャーロック=ホームズ全集』(コナン・ドイル 著)など、大人も楽しめる本も多いです。ドキドキわくわくの本の世界へ行ってみませんか。



情報アクト

国民健康保険税の税率改正に

関する答申書が提出されました

8月22日、国民健康保険税の税率改正に関する答申書が、隠岐の島町国民健康保険運営協議会の田中一隆会長から松田町長へ手渡されました。

この答申は、町長より、隠岐の島町国民健康保険税の税率改正について諮問を受け、審議の結果を取りまとめたものです。

答申の概要は、医療費の上昇などにより国民健康保険の財政運営が厳しい状況であり、税率改正（引き上げ）は適当であるとしながらも、被保険者、加入者の負担が大きくなり過ぎないよう十分な配慮と収納対策の強化を図ることが大切であるといふものでした。

町では答申を尊重し、平成25年度の国民健康保険税の税率改正に向け準備を進めていきます。



田中会長（写真右）より松田町長へ答申書が手渡されました（役場町長室）

竹島問題の専門部署を設置へ

8月23日の衆議院予算委員会で、藤村修内閣官房長官が竹島を巡る領有権問題に対処する専門部署を政府内に設置する考えを示しました。

これは、竹島領土権確立隠岐期成同盟会（会長・松田和久町長）が島根県とともに国に対して長年要望してきたことであり、竹島問題の解決に向けた政府の体制強化が図られ、ようやく北方領土と同様に取組まれることは大きな前進であり、本町としても歓迎するところです。

韓国の李明博大統領が8月10日、歴代大統領として初めて竹島へ上陸したことなどを受け、今回このような措置を政府が表明したわけですが、これを契機とし、竹島問題が国内はもとより国際社会の中で更に議論が深まることが望まれます。



国による竹島問題の早期解決が望まれます。

司法書士無料法律相談が開設されます

島根県司法書士会では、次のとおり司法書士無料相談を開催します。

相談内容

遺産相続、遺言、不動産の売買、名義変更登記、お金の貸し借り、借金・ローン、クレジット、悪質商法、会社の登記、裁判、調停、成年後見等高齢

者の財産管理など、さまざまな法律相談・登記相談

会場及び日時

知夫村会場

日時・平成24年10月6日（土）午後1時30分から午後5時

場所・知夫里島開発総合センター

松江会場

日時・平成24年10月20日（土）午後1時から午後5時

場所・島根県司法書士会館
その他、出雲、益田地区など県内3会場でも開催されます。

予約先及びお問い合わせ先

司法書士総合相談センター

0120-114-234

受付時間・平日12時30分から午後3時30分まで、予約不要ですが、予約されていない方は、お待ちいただくことがあります。

激戦を制し2年ぶり3度目の優勝！～全国離島交流中学生野球大会～



決勝戦を2-1のサヨナラ勝ちで制し、それぞれを胸上げて喜びを分かち合う選手の皆さん（八丈島町：南原スポーツ公園野球場 8月30日）

国土交通大臣杯第5回全国離島交流中学生野球大会（通称：離島甲子園）が8月27日から30日にかけて東京都八丈島で開催され、町内3中学校の3年生野球部員で編成した選抜チーム「隠岐の島あんやらーず」が見事優勝しました。

この大会は、対外試合の難しい離島の中学球児に交流の機会をつくること、元プロ野球選手村田兆治さんが提唱し始まった大会で、5回目となる今年も過去最多の21チームが参加。本戦に臨んだ「隠岐の島あんやらーず」は、初戦「対島根県西ノ島町」、2回戦「対長崎県対馬市」、準決勝戦「対長崎県新上五島町」と勝ち進み、決勝戦では沖縄県久米島町代表の「久米島イーグルス」との激戦を制し見事優勝しました。



隠岐空港に詰めかけた大勢の町民の皆さんを前にして、選手の皆さんより大会の結果報告が行われました。（隠岐空港玄関前の広場 9月1日）

全国小学生学年別柔道大会 2年連続出場

田中ひとみさん、都万小学校6年生



得意の背負い投げに磨きをかける田中さん。(西郷武道館)

8月26日(日)に、鹿児島県アリーナ、鹿児島県で「第9回全国小学生学年別柔道大会」が開催され、島根県代表として出場した田中ひとみさん、都万小学校6年生、が見事ベスト16まで進出しました。

この大会は、全日本柔道連盟が主催する大会で、全国の小学5年生と6年生を対象とし、各都道府県で開催される予選大会を勝ち上がった代表選手がトーナメント形式で競い合い、小学生対象としては最大規模の柔道大会です。

田中さんは、小学校6年生女子45kg超級の島根県代表として出場。2回戦で昨年度本大会において3位入賞の選手、石川県代表に優勢勝ちを収めるなど、全国レベルの対戦相手に堂々とした戦いを繰り広げました。

田中さんは、町内の5歳から中学生までの子ども達が集う「隠岐柔



「隠岐柔友会」の皆さん。この日も一生懸命稽古に励んでいました。(西郷武道館)

友会」代表・田中勤さん、会員30名に所属。小学校1年生から柔道を始めて以来、他の子ども達とともに日々練習に励んできた成果が実を結び、昨年に続き島根県代表として2年連続の全国大会出場という快挙を成し遂げました。

今後の目標を、中学校で全国大会へ出場するためには中国大会で優勝しなければいけないので、まずは中国大会優勝を目指してがんばりたいです。」と力強く語る田中さん。今後の更なる活躍が期待されます。

よみがえる はじまりの物語 神話博しまね 開催中!

島根県が実施している「神々の国しまね」プロジェクトのシンポリアルイベント「神話博しまね」が、11月11日(日)までの114日間にわたり出雲大社周辺を主会場として開催されています。

古代出雲歴史博物館駐車場の神話博しまね特設会場では、県内各地の郷土



神話博しまね会場(出雲市)のイメージ図

芸能が上演されています。

今後の上演日程「隠岐の島町」
10月8日(月)
島後久見神楽
11月11日(日)
隠岐国分寺蓮華会舞

「神話博しまね」の詳しい情報は、神話博しまね公式ウェブサイト「神話博しまね」で検索をご覧いただくか、神話博しまね実行委員会「電話0853-53-8833」までお問い合わせください。

お問い合わせ先
役場観光課観光係
2-8575



秋が旬のさんま!今回はふっくらつやつやの新米とさんまを使った料理をご紹介します。魚嫌いな子どもも、たくさんご飯を食べますよ。

さんまごはん



材料(園児4人分)

- 米(200g)
- さんま(80g)
- 生姜(3.2g)
- 葉ねぎ(16g)
- 醤油(14cc)
- 砂糖(1.3g)

作り方

- ① 米を洗う。
- ② さんまは、3枚におろす。
- ③ 生姜は輪切り、ねぎは小口切りにし、さっと湯を通す。
- ④ 米とさんま、生姜、調味料を合わせて炊く。
- ⑤ 炊きあがったら、生姜を取りのぞき、ねぎを加えさんまをほぐす様に全体を混ぜる。
- ⑥ 盛り付ける。

*隠岐の島町食生活改善推進協議会「地域の食材を生かした献立集より」

無料調停相談に来てみませんか

高根県調停協会西郷支部では、次のとおり無料調停相談を実施します。是非お越しください。

日時 平成24年10月10日(水) 午前10時から午後3時

場所 隠岐島文化会館

相談内容 家庭内のもめ事、離婚、子どもの養育費、遺産相続などの争い、金銭の貸借や商品売買のトラブル、土地や建物の権利の争い、交通事故などによる損害賠償など

相談費用 無料

担当者 民事調停委員、家事調停委員

お問い合わせ先

松江地方裁判所西郷支部

20005

戸籍コーナー

ご誕生

氏名	地区	保護者
池田 裕杜	飯田	池田 明生
大西 健太	栄町	大西 宏司
合田 龍之助	城北町	合田 勝弘

8月31日までの受付分 敬称略



ふるさと写真館

このコーナーでは、皆様が撮影された写真を紹介させていただきます。

【今月の一枚】

佐山牛突き場(上西)で行われた八朔牛突き大会の様子を撮影された写真です。



「強引な引き分け～八朔牛突き大会～」
吉田 徹さん

平成24年9月1日撮影

次回も皆様のご応募をお待ちしています。詳しくは左記までお問い合わせください。

送付先・お問い合わせ先

〒685-8585

隠岐郡隠岐の島町城北町1番地
隠岐の島町役場総務課広報広聴係

電話 2-8572

メールアドレス

jouhou@town.okinoshimashimane.jp

だいまんじトレイルラン 参加者募集中!

開催日 平成24年11月18日(日) 8:30分スタート
会場 有木集会所(スタート・ゴール)
種目 とかげ岩の部 約18km(大満寺山頂上、神原高原ほか)
参加資格 隠岐の自然を楽しんでいただける方、自己責任で走れる方ほか
参加料 3,000円
トレイルランは山等の不整地を走るマラソンです。
お問合せ だいまんじトレイルラン事務局
武田浩志 電話 2-0227 HP: <http://www.rundoki.com>

着物レンタル カトリア美容室

TEL2-0688
夜間電話 2-3215

着物レンタル始めました

冠婚葬祭、お宮参り、七五三、成人式、婚礼、還暦など
着付け・ヘアセット
足元にいたるまで全て
トータルでご用意いたします。

5,000円より
どんなご相談にも応じます。
お電話お待ちしております。

新聞は頭脳のビタミン剤です!

毎日/日経/産経新聞舗

中国新聞は、広島はもちろん、島根、山口、岡山の記事まで、幅広い地域紙面が充実しています。
また、スポーツでは、カーブ、サンフレッチェなどあらゆる場面での取材を行ない、活気ある内容を、お届けしております。今年の5月5日に創刊120周年を迎えました。日頃の読者の方々に感謝するとともに、今後とも中国新聞をご愛読頂けるよう更なる紙面の充実に努めて参ります。上記店舗に、お気軽にお問い合わせ下さい。

中国新聞広島本社
島根県担当: 長井友哉

隠岐メッセンジャー TEL2-0900 FAX2-0903

地産地消でおいしいお米を食べてみましょう!

有木山崎 2-0900

こめや 米穀店

おいしい新米入荷しました。
今年の暑さにへこたれず、精根込めて育てられた
隠岐のお米です。
それだからこそ、おいしいお米になっています。
地方発送も喜ばれていますので、
お気軽にお電話・お問い合わせ下さい。

隠岐メッセンジャー 代表 繁浪只男 FAX 2-0903

贈り物 うつわ お茶 暮しの道具
秋柄布小物入荷しました!



ギフトカタログお届け致します
結婚・出産・新築等各種内祝い
お気軽にお問い合わせ下さい
<http://kyomiyabuntenshimido.com>

西町八尾3-81 2-0425 **京見屋分店**

ファンシーショップ・贈答品・ギフト
インテリアショップ
和洋家具・婚礼セット一式

ザラタ館
西郷店

あずま家具匠建センター

Autumn
暮らしを Design

新商品入荷中!
カタログ差し上げます

隠岐の島町城北町340 (隠岐病院前)
電話 2-3265 営業時間 平日 AM9:00~PM7:00
FAX 2-3266 (不定休) 日祝 AM9:00~PM6:00

**優勝カップ
トロフィー
盾・メダル**

ペナント・リボン
プレート彫刻・貼替



お気軽にお問い合わせください

Culture Sport **はっとり**

TEL:2-0092 FAX:2-0413 (日曜日定休)

スタッフ募集中!!
ケータイやスマホに興味のある方、お待ちしております!

NTT
docomo
ドコモショップ隠岐店

●営業時間:午前10時~午後7時
●定休日:火曜日
685-0015隠岐郡隠岐の島町港町塩口24-9
NTT西日本隠岐ビル1F

0120-075-445

●中国電力 ●島根県
隠岐営業所 隠岐合同庁舎
西郷港

しまね子育て応援パスポート
COCOLO
(こっころ)協賛店です

COCOLOパスポートは、役場福祉課・各支所で発行しています

【小・中・高】学校制服の店
ニューライフ・京見屋

こっころパスポートお持ちの方!
各小学校・中学校・隠岐高校・水産高校制服
★学校納入価格から**5%値引き**します。
さらに、袖丈・ズボン丈等の修正は**無料**です。

洋服のリフォームもお取り扱いしています

**お手持ちの布で綿入はんでん、
綿入ベスト(服)を縫います。**

【工賃】
綿入はんでん 紳士物 6,000円 婦人物 5,500円
綿入ベスト 紳士物 7,000円 婦人物 6,500円
どちらも綿代別途キルト芯込1枚 1,500円

隠岐の島町西町 電話2-1258

偲びの膳

在りし日の故人を偲び、懐かしい思い出を語らう追膳のお席をご用意致します。

@5,250円 (@5,000円)
@6,300円 (@6,000円)
@7,350円 (@7,000円)

仕出し膳、お持ち帰り用・霊供用のお膳もご要望で承ります。送迎バス無料(要予約)

隠岐プラザホテル
OKI PLAZA HOTEL

●住所 / 〒685-0015 隠岐の島町港町天神原
●電話 / **2-0111** ●FAX / **2-0521**
●URL / <http://www.okiplaza.com/>

炉端 味咲



要予約・一日一組様限定(4名様以上)
お一人様4,000円~
【送迎も致します。】

隠岐の島町岬町中ノ津
電話 08512-2-6566

隠岐の島町行事予定 10月

1日 月	図書館休館
2日 火	
3日 水	
4日 木	
5日 金	
6日 土	
7日 日	隠岐の島町戦没者追悼式 10:00 ~ 12:00(隠岐島文化会館)
8日 月	体育の日 図書館休館
9日 火	図書館休館
10日 水	隠岐の島町ノーレージ袋デー 無料調停相談 10:00 ~ 15:00(隠岐島文化会館)
11日 木	年金相談 13:00 ~ 16:00(役場ふれあいセンター)
12日 金	年金相談 9:30 ~ 12:00(役場ふれあいセンター)
13日 土	一夜嶽牛突き大会(町指定無形民俗文化財) 13:00 ~ (一夜嶽牛突き場 : 北方)
14日 日	全国凧揚げ大会 8:20 ~ (岬牧野隣接広場)
15日 月	納付金時間外窓口 17:15 ~ 19:00(役場本庁税務課) 図書館休館
16日 火	町長選挙・町議会議員補欠選挙告示日
17日 水	
18日 木	
19日 金	人権相談 13:00 ~ 15:00(原田中央集会所)
20日 土	
21日 日	町長選挙・町議会議員補欠選挙投票日 図書館休館
22日 月	図書館休館
23日 火	
24日 水	
25日 木	
26日 金	
27日 土	
28日 日	第35回隠岐の島町バドミントン選手権大会 9:00 ~ (総合体育館)
29日 月	図書館休館
30日 火	
31日 水	納付金時間外窓口 17:15 ~ 19:00(役場本庁税務課)

隠岐の島町戦没者追悼式

とき / 10月7日(日)
午前10時 ~ (受付: 午前9時 ~)
ところ / 隠岐島文化会館



お問い合わせ 役場福祉課 電話: 2-8561

一夜嶽牛突き大会 町指定無形民俗文化財

とき / 10月13日(土)
午後1時 ~
ところ / 一夜嶽牛突き場(北方)



お問い合わせ 役場観光課 電話: 2-8575

全国凧揚げ大会 隠岐の島町に全国から凧が集合!

とき / 10月14日(日)
午前8時20分 ~
ところ / 岬牧野隣接広場



自作の「鬼の絵」を持参して凧揚げ大会にエントリーすると上位入賞者には賞品があります! (受付は当日)

お問い合わせ 役場観光課 電話: 2-8575

編集室

8月15日、隠岐島文化会館で隠岐の島町成人式が開催されました。久しぶりに会う友人たちとの再会に新成人の皆さんは、お互いの近況や昔話に花を咲かせていました。また、話の中では、将来は隠岐に帰りたい、隠岐で仕事がしたいという声も聞かれ、新成人の皆さんの隠岐に対する思いを直接感じることができました。さて、今回の特集では、隠岐の島ものづくり学校について紹介しました。隠岐の島ものづくり学校の特徴のひとつとして、都市部との連携の中で、隠岐の資源を活かした新たな産業を自分自身で創業できることです。もちろん、創業するというのは決して簡単なことではありませんが、今回の成人式で出会った、熱意あふれる新成人の皆さんをはじめ、都市部などで生活している皆さんには、島に住む私たちが気づかない島の資源を活かすための様々なアイデアやノウハウがあるのではないかと思っています。隠岐への想い、隠岐の資源、そこに都市部のアイデアやノウハウが融合し、新たな産業が生み出されていくよう、町の広報としてもより多く、新鮮な情報を皆様へお届けしていかなければと改めて感じました。(T・M)

人口と世帯数

平成24年9月1日現在

人口 15,438 (-4) 人

男 7,386 (+2) 人

女 8,052 (-6) 人

内15歳未満 1,756人 (11.4%)

内65歳以上 5,238人 (33.9%)

世帯数 7,256 (-8) 世帯

■括弧内は前月比

転入 19人 出生 6人 その他 0人

転出 9人 死亡 18人 その他 2人